

## 会議記録簿

<b>会議名</b>	平成30年度 第4回千曲市地域公共交通網形成計画 策定分科会	<b>受託者</b>	特定非営利活動法人 SCOP
		<b>作成者</b>	牧野 透太
<b>場所</b>	千曲市役所更埴庁舎 講堂		
<b>日時</b>	平成30年9月25日(火) 10:00~12:00		

### 1 開会

### 2 分科会長あいさつ

### 3 会議事項

- ・ 前回会議からの経過について事務局より説明  
ヒアリング調査、バスの乗り方教室、大田原地区住民ワークショップ 等

#### (1) 移動実態調査及びバス利用者アンケート結果について

- ・ 「住民移動実態調査報告書」について事務局（SCOP）より説明
- ・ 「バス鉄道利用状況・乗込調査報告書」について事務局（SCOP）より説明

#### 《質疑》

##### (井藤委員)

「住民移動実態調査報告書」 p27 鉄道駅の利用傾向だが、利用増、減の理由は何か分からないか。

##### (小林委員)

戸倉駅の利用者が減少しているのは、千曲駅に利用が流れていると考えられる。詳細は社に戻って確認したい。

##### (玉井委員)

「バス鉄道利用状況・乗込調査報告書」についても、路線ごとに利用者数が増減している。これも増減の理由が分かるか。

##### (事務局)

大循環線は平成29年度より便数を増便したのが要因と考えられる。その他の路線では、例えば大田原線、姨捨線で利用が減少している。高齢化、少子化で地域の利用者層が減少していると考えている。特に高齢化は、一人のヘビーユーザーが乗らなくなると、全体の利用者数に大きな影響が出る。

##### (柳澤会長)

大循環線は増便した便が通院の時間にちょうどよい便となっているのかもしれない。

##### (平林委員)

増便をすれば、今後も使われるのか。

##### (事務局)

そういうことではないと考える。

##### (高村委員)

路線の満足度を把握しているが、満足度の理由は具体的にどのように質問したのか。

##### (SCOP)

バス車内で対面アンケートしているため、文章での質問はしていない。路線、ダイヤ等それぞれについて満足度を答えてもらっている。

## (2) 現状・課題のまとめ及び基本方針（素案）について

- ・「現状課題のまとめと基本方針」について事務局（SCOP）より説明

### 《質疑》

#### （柳澤会長）

まちづくりと連携したネットワーク化とあるが、中心部と周辺部のサービスレベルに差を付けることが関わってくる。具体的には、幹線とフィーダーの運行に差を付けることになるが、この点はどこに記載しているか。

#### （SCOP）

p 14① イ・ウに幹線、フィーダーの役割と整備の考え方を記載している。

#### （高村委員）

金融機関に行く用事というのではないか。

#### （事務局）

通院・買い物とあわせて考えていきたい。

#### （SCOP）

金融機関に単独で行く用事ももちろんあると考える。ただし、移動の優先順位として、通院、買い物をまずはあげたい。

#### （高村委員）

バスの利用が選択肢にない者の利用も考えていけないか。例えばバス通勤の奨励が考えられる。市役所等で実践するなどできないか。

#### （事務局）

普段利用していない人が、車から公共交通に転換することは、ハードルが高いが、利用促進はしていきたい。市役所については、新庁舎に移転することで、駐車場が不足することが懸念されている。これを機に利用の転換を促進していきたい。

#### （柳澤会長）

サイクル&ライドという方法もあるが、実施できそうか。

#### （事務局）

実施していきたい。

#### （玉井委員）

シニア向けの乗り方教室は新設ということか。学生向けと両方実施していくものか。

#### （事務局）

両方実施していくものである。高齢者向けの乗り方教室は、外出のきっかけづくりとしても実施していきたい。この点では、高齢福祉課の介護予防の事業と連携していきたい。

#### （井藤委員）

交通結節点は、図のバス停を想定しているのか。

#### （SCOP）

これらすべてということではなく、この中から絞って結節をとっていきたい。

(井藤委員)

利用促進については、ターゲット別に方向性が示されていてよいと思う。全国では、高齢者向けにMy 時刻表やマイカーからバスに転換した通勤者に報奨金を出すという事例もある。検討してみてはどうか。

(柳澤会長)

普段利用している人が、どのように利用しているか(利用事例)を紹介することも有効だと考える。

(新井委員)

“交通空白”という標記があるがタクシーが運行しているため、そのことを注記すべきではないか。また、公共交通利用促進としながらも、施設送迎を移動手段の中にいれているのは再考すべきではないか。同様にパークアンドライドについても自家用車の利用促進ではないか。

(SCOP)

再考したい。ただ、パークアンドライドは鉄道の利用促進として記載している。現在の千曲市の利用状況では、遅くまで二次交通としてバスを運行することは現実的でないと考ええる。

(柳澤会長)

表現について修正をしてほしい。

(新井委員)

また、広域の病院への移動も考えた方がいいのではないか。例えば、千曲市内には産科がない。広域の病院への通院も検討してはどうか。

(柳澤会長)

都市計画とも連携して検討していきたい。

(北島委員)

市内では移動は完結しない。この点、p 11 の現状課題の中に記載してはどうか。

(SCOP)

加筆したい。

(高村委員)

全体的な考え方でコンパクトシティということも疑問に思っている。観光の視点から、歴史の古い所を含めて地域の資源として利便性を確保して行ってほしい。

(事務局)

観光の視点についても検討していく。

#### 4 その他

#### 5 閉会

以上